

# ひょうごの 赤十字

2016  
January

1月



## 平成28年新春メッセージ

### ～兵庫創生に挑む～



日本赤十字社兵庫県支部  
支部長(兵庫県知事)

井戸敏三

新年あけましておめでとうございます。

国内では急速な人口減少・少子高齢化、世界では地域紛争が激化する一方で、国境を越えた経済の一体化が進展しています。内外とも変化の激しい今、兵庫においても、新たな発展の枠組みが求められています。

昨秋、本県は、5年間の地域創生戦略を策定しました。今後50年で100万人以上の人口減少が見込まれます。少子化と高齢化も年々進行します。その中でも兵庫が活力を保ち、将来への希望を持てる地域を目指さねばなりません。それだけに、地域の多様な資源を最大限に活用して、ふるさと兵庫を愛する人々とともに、「安全安心で元気なふるさと兵庫」を創らねばなりません。

第一は、安全安心の確保。安全こそが県民生活と社会経済活動の基です。ハードソフト両面から防災・減災対策を進め、危機に強い地域を創ります。また、医療、福祉の更なる充実により、安心して暮らし続けられる体制を整えます。

第二は、多彩な人材が活躍できる社会づくり。女性、若者、高齢者、障害者の一層の社会参加を促します。そのためには、子育て環境の整備や、個性を伸ばす教育に努め、県民一人ひとりの自己実現を目指します。

第三は、活力あふれる地域づくり。科学技術基盤を活かした新産業の創出、大都市近郊を活かす農林水産業の確立など、産業の競争力強化に取り組みます。また、高速道路網の整備、広域観光圏の形成などにより、内外との交流の拡大につなげます。

未来は、私たちの手で変えられる。

そのため、戦略では、自然増や社会増対策を行うとともに、人口が減る中でも実質的な経済成長を実現するという目標を掲げました。地域、地域の持つ多様な資源を活かしつつ、兵庫としてのまとまりを発揮する「多様性と連携」を基本に、皆さんと共に挑みます。「兵庫創生」に向けて、さあスタートを切りましょう。

各地域 資源を活かし連携し めざすは兵庫の新しい展開



日本赤十字社 兵庫県支部  
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1丁目4番5号

078-241-9889



赤十字 兵庫

検索



## 創立125周年記念 兵庫県赤十字大会を開催

11月24日、日本赤十字社名誉副総裁秋篠宮妃殿下の御臨席のもと、赤十字関係者約1,300人が一堂に会し、国際会議場ポートピアホール(神戸市)において記念大会を開催しました。



### 日本赤十字社名誉副総裁秋篠宮妃殿下おことば

本日、支部創立百二十五周年記念兵庫県赤十字大会が開催され、日頃より、赤十字の活動に携わっておられる皆さまとお会いできましたことを、大変うれしく思います。

赤十字は、これまで国際的な強い絆で結ばれ、人道・博愛の立場から、世界各地で活動を続けてきました。日本においても、多くの人々の尽力により、日本赤十字社が、その大事な使命を果たしてきたことを大変心強く思います。

今年、兵庫県支部は、百二十五周年を迎えました。創立以来、兵庫県支部の活動が着実な歩みを続けていることは誠に喜ばしく、日頃より惜しみないご協力をいただいている皆さまに、心から敬意を表します。

阪神・淡路大震災においては、兵庫県支部が中心となって、災害救護活動や赤十字奉仕団によるボランティア活動などに、懸命に取り組まれました。それから二十年が経過した今年、改めて、当時の深い悲しみに思いをいたしますとともに、皆さまのご活動に感謝いたします。

今日、自然災害や紛争などが各地で起こり、世界の多くの人々が人道的な支援を必要としています。また、国内においても、被災者への適切な支援や、質の高い安全な医療の提供が求められています。

そうした中、兵庫県支部においては、シリアから多くの難民が流入している隣国ヨルダンへの看護師の派遣や、国内における広域災害に備えた防災・減災活動など、国の内外において、積極的な取り組みが行われていると伺っています。

赤十字に寄せられる期待と要請は、今後ますます高まってくると思われます。

皆さまが、これまでも増して、赤十字の尊い使命を胸に、より一層力強い活動を進められることを願ってやみません。



### 井戸兵庫県支部長あいさつ(要旨)

晩秋の 冷涼とばす熱意あれ

これまでとこれから 決意新たに

明治23年の設立以来、いつの時代も、いかなる状況でも、苦しんでいる人々を救いたいと願い、いのちと健康を守る活動に邁進し続けた125年でした。

赤十字の基本は、人間愛です。

災害や紛争などの危機に際しては、直ちに現地に赴き救護活動を行い、平時においては質の高い地域医療の提供はもちろんのこと、高齢者や障害者を支援する社会福祉事業をはじめ、赤十字ボランティアの育成、青少年赤十字の推進など、地域に密着した様々な赤十字活動を展開してまいりました。有功会員や奉仕団員をはじめ関係の皆さまからのご支援に改めて心よりお礼を申し上げます。

20年前の阪神・淡路大震災。大都市を襲った未曾有の災害は、赤十字の救護活動にも多くの教訓を残しました。「その経験と教訓をしっかりと生かしていかなければならない」。この思いから、兵庫県支部では災害救護体制の強化に全施設をあげて取り組んでいます。

東日本大震災では、発災当日から国内型緊急対応ユニットを派遣し、昼夜を徹した救護活動を展開しました。その後も、医師や看護師をはじめ、こころのケアチームなどを派遣し、継続的な救護活動を行ってきました。

さらに、スマトラ沖地震、ハイチ地震への看護師派遣や、中東紛争地域での被害者支援など、その活動は世界にも広がっています。

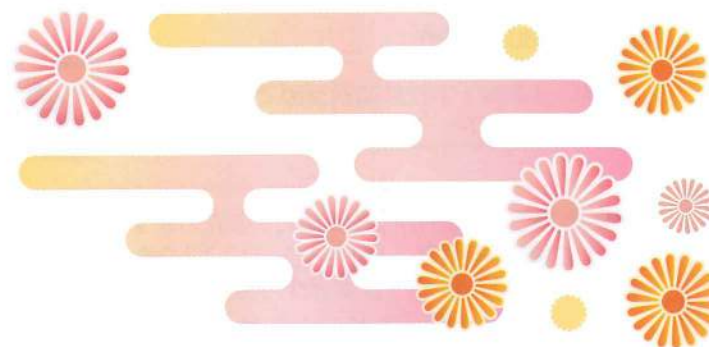
今後、高い確率で発生すると言われる南海トラフ地震、さらにはゲリラ豪雨や巨大台風、火山噴火、原子力災害など災害は多様化、広域化しており、災害発生時における日本赤十字社の危機対応能力の充実がこれまで以上に求められています。また少子高齢化の進行、人口・世帯構造や疾病構造の変化、医療技術の高度化など、医療や健康をめぐる様々な課題にも対応していかなければなりません。赤十字社の役割は、ますます高まっていると言えるでしょう。それだけに、日本赤十字社兵庫県支部は、これからも震災の経験と教訓を生かしつつ、誰もが健康で、安全で安心して暮らせる社会の実現に向け、全力を尽くします。そして、人々のこころに希望の灯をともし存在であり続けます。

今後とも、皆さまの一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。開会のあいさつといたします。



### 有功章等の授与

赤十字活動に対して顕著な功績のあった皆さまに、秋篠宮妃殿下から一人ひとりに日本赤十字社有功章が授与されるとともに、日本赤十字社の大塚副社長から日本赤十字社社長感謝状が、井戸兵庫県支部長から社業功労支部長特別感謝状などが贈呈、伝達されました。今回は、608の個人と120の法人・団体が受章されました。



## 大塚日本赤十字社副社長あいさつ (要旨)

本年は、兵庫県支部創立125周年と同時に、国民すべてが決して忘れることのできない阪神・淡路大震災から20年を数える大きな節目の年でもございます。改めて、震災でお亡くなりになられた方々に深い哀悼の意を表しますとともに、本日で参会の皆さまをはじめ今日の復興にご尽力をされましたすべての方々に対し、深甚なる敬意とそして謝意を表したいと思えます。

さらに本年は、長きにわたり、活動資金へのご協力や各事業、訓練へのご支援など、さまざまな形で日本赤十字社の事業を力強く支えていただいている兵庫県日赤有功会結成50周年でもございます。兵庫県支部が大震災をはじめとするさまざまな試練に遭遇しながらも、乗り越え、着実に発展を遂げてこられたのも有功会の皆さまやご参会の皆さま方の力強いご支援とご協力あってこそのことです。心から御礼申し上げます。

一方わが国での災害の発生は依然として後を絶たず、今年も台風や集中豪雨、火山噴火などによる災害が各地で発生し、中でも9月に茨城、栃木、宮城で発生した大雨災害は、広範囲かつ大きな被害をもたらしました。また近い将来、南海トラフ地震や首都直下型地震などの大規模災害の発生も危惧される中、赤十字が果たすべき役割も、また国民の皆さま方から寄せられる期待もますます大きくなっており、今後一層の災害救護体制の充実、強化などに努めてまいります。

海外においても、一層深刻さを増す国際紛争、大規模な自然災害の発生など、人々の命が脅かされる出来事が後を絶ちません。私たちは国際赤十字の一員として、各国赤十字社の仲間たちと連携を取りながら、地道な、そして積極的な人道支援活動を展開してまいります。

激動する世界、急速に変化する時代の下で、赤十字社もさまざまな新たな課題に直面しています。我々の使命を全うするためにも、時代の変化に柔軟に、そして適格に対応していかなければなりません。ご参会の皆さまの赤十字事業に対するこれまでの温かいご理解とご支援に重ねて感謝をいたしますとともに、ご意見も十分頂戴しながら、新しい時代に則した体制の整備に努めてまいりたいと考えております。

今後ともなお一層のお力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます。心からお祝い申し上げます。本日は誠にありがとうございます。



## 実践活動報告



青少年赤十字加盟校である宝塚市立山手台小学校6年の山中遥さん、浮田佳穂さん、畦森優衣さんから報告いただきました。「募金活動や東日本大震災の被災者を支援するため企画したフリーマーケットなど、他人の役に立つ活動を通じて喜びや達成感を味わうとともに、自分を高める機会になっていたことに気がつきました。青少年赤十字の活動を学校の良き伝統として、後輩に引き継げるように、しっかりと頑張っていきます」と発表。大きな拍手が沸きおこりました。



## あこがれの赤十字



姫路赤十字看護専門学校生が「あこがれの赤十字」を合唱しました。

## 記念公演



記念公演として、神戸市立須磨翔風高等学校の和太鼓部の皆さんによる演奏が行われました。和太鼓の大きな響きと部員の皆さんのパフォーマンスに誰しもが魅了されていました。

125年にわたり、多くの皆さまのご支援とご協力によって支えられてきた赤十字活動。これからも多くの皆さまの期待と要請に応えることができるよう取り組んでまいります。これまでも、これからも。みなさまとともに。



## 兵庫県日赤有功会主催 名誉副総裁秋篠宮妃殿下歓迎午餐会

支部創立125周年記念兵庫県赤十字大会に先立ち、日本赤十字社名誉副総裁秋篠宮妃殿下のご来県を歓迎し、また兵庫県日赤有功会結成50周年を記念した午餐会が、神戸ポートピアホテルにおいて、会員・来賓205人が出席する中、開催されました。

会員の皆さまと妃殿下の記念撮影ののち午餐会が執り行われ、約1時間の会ではありましたが、終始穏やかに微笑んでおられる妃殿下のお姿を間近にし、会員の皆さまも穏やかなひと時を過ごされました。



### 兵庫県日赤有功会北村会長あいさつ(要旨)

当有功会が、今日まで日本赤十字社そして兵庫県支部のさまざまな事業を永年にわたり支援し続けてこれましたことは、大変喜ばしく、そして誇りに思う次第でございます。近年、国の内外を問わず自然災害や地域紛争が頻発しており、赤十字の果たすべき役割や、赤十字に対する人々の期待もさらに大きくなっていくものと感じており、有功会としても、在籍している500人あまりの会員が一丸となって、なお一層赤十字活動に貢献できるよう仲間の輪をさらに広げてまいる所存でございます。



兵庫県日赤有功会は、日本赤十字社兵庫県支部の活動資金のご寄付や、奉仕活動等による多大なご尽力により、日本赤十字社有功章を受章された方々によって組織されています。現在約500人の会員の皆さまが在籍され、赤十字事業を側面から支えていただいております。

日本赤十字社兵庫県支部ではご支援いただける新規会員を募集いたしております。

詳しくは  078-241-8921 (振興課)まで



## 平成27年度赤十字 ポスターコンクール受賞作品が決定

次代を担う皆さんが生命の大切さ助け合いの大切さなどを考えるきっかけになればと募集した「赤十字ポスターコンクール」の表彰式が11月24日、「支部創立125周年記念兵庫県赤十字大会」の中で行われ、最優秀賞を受賞した嵐萌希さん(兵庫県立兵庫工業高等学校2年)に賞状等が贈られました。今回県内の小・中・高・特別支援学校50校から340作品が寄せられ、災害救護活動をはじめ国際救援活動、赤十字病院、献血など「いのちを守る赤十字活動」をテーマとした52作品の受賞が決定。受賞作品はホームページでご覧いただける他、県内各地での展示も予定しています。展示場所などは随時ホームページでお知らせいたします。



最優秀受賞作品



## 「1.17は忘れない ひょうご安全の日のつどい」 に参加協力します

～阪神・淡路大震災から21年～

風化しがちな防災意識を新たにするとともに、震災の経験と教訓を発信し、1.17を忘れずに語り継ぐ日。1月17日に開催される「ひょうご安全の日のつどい」に兵庫県支部が参加協力します。ぜひご来場ください。

**日にち** 平成28年1月17日(日)

**場所** なぎさ公園周辺(神戸市中央区脇浜海岸通)

- 内容**
- ◆救急法ミニ講習会
  - ◆兵庫県赤十字奉仕団による豚汁の炊き出し
  - ◆青少年赤十字メンバーによる宮城県産「あげかま」と「かもめの玉子」の販売
  - ◆支部社屋1階駐車場で活動紹介パネルや赤十字ポスターコンクール受賞作品の展示

※時間など詳しくはホームページをご覧ください

## 講習のご案内

お問い合わせは、  
お電話またはホームページで



078-241-1499 (講習係)

### 救急法基礎講習(1日受講)

3/21(月) 13:00～17:30

### 救急法救急員養成講習(2日間受講)

2/27(土)・28(日) 9:30～17:30

### 救急法基礎・救急員養成講習(3日間受講)

3/6(日)・12(土)・13(日) 9:30～17:30(初日は13:00～)

### 健康生活支援講習(3日間受講)

2/13(土)・14(日)・20(土)  
10:00～15:30(最終日は16:00まで)

### 科目別講習 講習の一部のテーマを短時間で習得できます。

**健康生活支援講習** 高齢者に起こりやすい事故の予防と手当、急病への対応  
2/26(金) 10:00～12:00

**健康生活支援講習** リラクゼーション・癒しのハンドケア  
2/26(金) 13:00～15:00

**健康生活支援講習** 災害時高齢者生活支援講習(災害が起こった時、支援できること)  
3/5(土) 10:00～12:00

**幼児安全法講習** 乳幼児の災害時支援  
3/5(土) 13:00～15:00

◇申込期日は開催日(初日)の一カ月前までです。 ◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

いのちと健康を守る赤十字活動は、  
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

## 活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からもご協力いただけます

口座番号: 01110-0-1136  
口座加入者名: 日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。